

平成29年5月11日 廃棄物自主管理事業説明会 行政情報

フードバンク活動について

神奈川県環境農政局環境部資源循環推進課

食品廃棄物等・食品ロスの推計結果の推移（環境省・農水省推計）

	食品廃棄物等	食品ロス
平成24年度	2,801万トン	642万トン
平成25年度	2,797万トン	632万トン
平成26年度	2,775万トン	621万トン

食品ロス・・・食品流通段階における梱包資材の破損等による規格外品の発生、需要予測がずれることによる売れ残り、必要量以上の購入による家庭での廃棄等により発生する。

Kanagawa Prefectural Government

食品ロス削減の促進における食品関連事業者の役割

●食品ロス削減に向けてできること

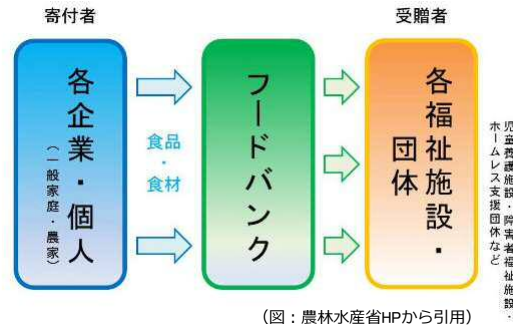
- 食品ロスの発生には、直接的・間接的に様々な要因が複雑に関わっており、ある特定の立場の者に削減の責任があるわけではない。
- それぞれの立場で取り組むこと、協力しながら取り組むことを、できることから着実に進めていくことが大切。

製造	卸売	小売	外食	家庭
<ul style="list-style-type: none"> 需要予測精度向上 製造ミス削減 賞味期限延長・年月表示化 期限設定情報開示 	<ul style="list-style-type: none"> 需要予測精度向上 売り切り 配送時の汚・破損削減 	<ul style="list-style-type: none"> 需要予測精度向上 売り切り 小容量販売 バラ売り 	<ul style="list-style-type: none"> 需要予測精度向上 調理ロス削減 食べ切り運動 小盛サービス 持ち帰り（自己責任） 	<ul style="list-style-type: none"> 冷蔵庫・家庭内の在庫管理 計画的な買い物 食べ切り 使い切り 期限表示の理解
<div style="border: 2px dashed red; padding: 5px; display: inline-block;"> ・フードチェーン全体での返品・過剰在庫削減 ・余剰食品のフードバンク寄付 </div>				
食品ロスの実態把握・削減意識共有、もったいない精神				

引用：農林水産省作成資料「食品ロスの削減とリサイクルの推進～食べものに、もったいないを、もういちど。～（平成29年4月）」

フードバンク活動とは

食品企業の製造工程で発生する規格外品などを引き取り、福祉施設等へ無料で提供する「フードバンク」と呼ばれる団体・活動のこと



神奈川県内のフードバンク（活動開始年月）※

- ・フードバンクかわさき（非営利型一般社団法人ファースト・ステップ運営） 川崎市（2013年1月）
- ・特定非営利活動法人ワンエイド 座間市（2016年1月）
- ・特定非営利活動法人もったいないジャパン 茅ヶ崎市（2016年4月）

※ 平成25年度フードバンク活動実態調査（農林水産省）に協力のあったフードバンク

Kanagawa Prefectural Government

フードバンク活動に係る情報について

詳細は農林水産省HP（http://www.maff.go.jp/j/shokusan/recycle/syoku_loss/foodbank.html）

フードバンクへの寄附に係る税制上の取扱い（法人が支出した寄附金の損金算入等）

- ・法人がフードバンクに支出した寄附金については、一般の寄附金として一定の限度額までが損金に算入
- ・認定NPO法人等などの特定のフードバンクに対する寄附金については、一般の寄附金とは別枠で損金算入限度額が設定される税制上の優遇措置
- ・金銭以外の資産（食品等）を寄附した場合には、その寄附金の額は、その寄附をした時の価額（時価）による

フードバンク活動における食品の取扱い等に関する手引き（農林水産省）

【対象】

国内のフードバンク活動のうち、食品関連事業者等から提供された食品の譲渡に係る活動

【主な内容】

食品の提供又は譲渡における原則、関係者におけるルールづくり、提供食品の品質・衛生管理、情報の記録及び伝達

Kanagawa Prefectural Government